

建築と社会

Architecture and Society

06

vol.96 No.1119

2015

特集予告

07 08
月 月
号 号
.. ..
第 建築と価値
62 回 青年技術者
技術者

今月の表紙

流れ橋（上津屋橋）（1953）



木津川にかかる橋。木で造られた橋脚と橋桁からなり、大水時にはユニット化された橋桁だけが流されてしまうことで、漂流物や流水のエネルギーを受け流すよう設計されている。そのために欄干やその他の装飾物はなく「渡す」「流される」ということが、シンプルなかたちで橋として実現化されている。

実際に建設から現在に至るまで、災害時には流されて後に再建されるということを繰り返してきた橋である。

表紙写真は橋脚だけとなった現在（2015年5月）の姿。

2014年の台風により流出して以来、修復がされてない。近年の度重なる大水で橋桁流出が多発し、再建するかどうかの是非について検討されているとのこと。

（多田正治）

表紙デザイン・撮影 多田正治
（多田正治アトリエ）

特集： これからの学びのかたち

目次

【対談】

新しい学びのかたち—グローバル社会の人材育成のために—

| 柳澤 要 美馬のゆり 中江 哲(司会) 石井靖人(コーディネーター) 8

【各論】

- | | | | |
|----|---|----------------|----|
| 1 | 国立大学の学修環境の充実に向けて | 森 政之 | 14 |
| 2 | 知の交流による学びの場—ナレッジキャピタル— | 野村卓也 | 16 |
| 3 | 立命館大学の3キャンパス体制 | 及川清昭 | 18 |
| 4 | 新しい学びの空間とランドスケープ | 武田史朗 | 20 |
| 5 | 立命館大学大阪いばらきキャンパス (OIC)
—キャンパス空間のフレームワーク— | 石井靖人 | 22 |
| 6 | 都市のように多様な学びの空間をつくる
—立命館大阪いばらきキャンパス— | 長谷川淳 | 24 |
| 7 | 立命館大学衣笠キャンパスの再整備—「平井嘉一郎記念図書館」と
大学院専用施設「究論館」— | 山本勝彦 三好裕司 戸川勝之 | 26 |
| 8 | 立命館大学びわこ・くさつキャンパス (BKC) の学びの空間事例
—「Tricea (トリシア)」— | 川原村勝幸 菊池浩輔 | 27 |
| 9 | 未来を創る若者たちの学び場
—立命館中学校・高等学校長岡京キャンパス— | 文田明良 | 28 |
| 10 | 「未来の学校で未来の学びをして未来の人を育てる」
—立命館中学校・高等学校長岡京キャンパス— | 中江 哲 | 30 |

連 載	会告	平成27年度定時総会、増田昇氏講演会と会員交流懇親会 日本建築協会東海支部事務局の移転「民間（旧四会）連合協 定小規模建築物 設計施工—活用 工事請負等契約書（書式・ 約款）」改訂版発行について 共同主催速水清孝氏講演会	1 2
	作品作風	立命館大学大阪いばらきキャンパス	4
	gallery	ヒトとヒト、ヒトとハコを繋ぐもの。 戸田直美	6
	法令コーナー	建築基準法を改正 田伏翔一	32
	設備の頁	中小業務用ビルの省エネルギー改修 —予測、検証、運用改善— 坂本 滋	33
	関西の建築界 群像	米井 寛 中川 卓 野口 伸	34
	Member's Forum	U-35委員会企画 talk baton 03 活動報告	35
	information	「実務者のための工事監理ガイドラインの手引き」解説講習 会、没後30年 鴨居玲展—踊り候え—、ルーヴル美術館展 日 常を描く—風俗画にみるヨーロッパ絵画の真髄—、中村順平 と建築芸術教育、記念シンポジウムレポート 第13回村野藤 吾建築設計図展—村野藤吾の住宅デザイン—	36
	月間の動き	平成27年4月	38